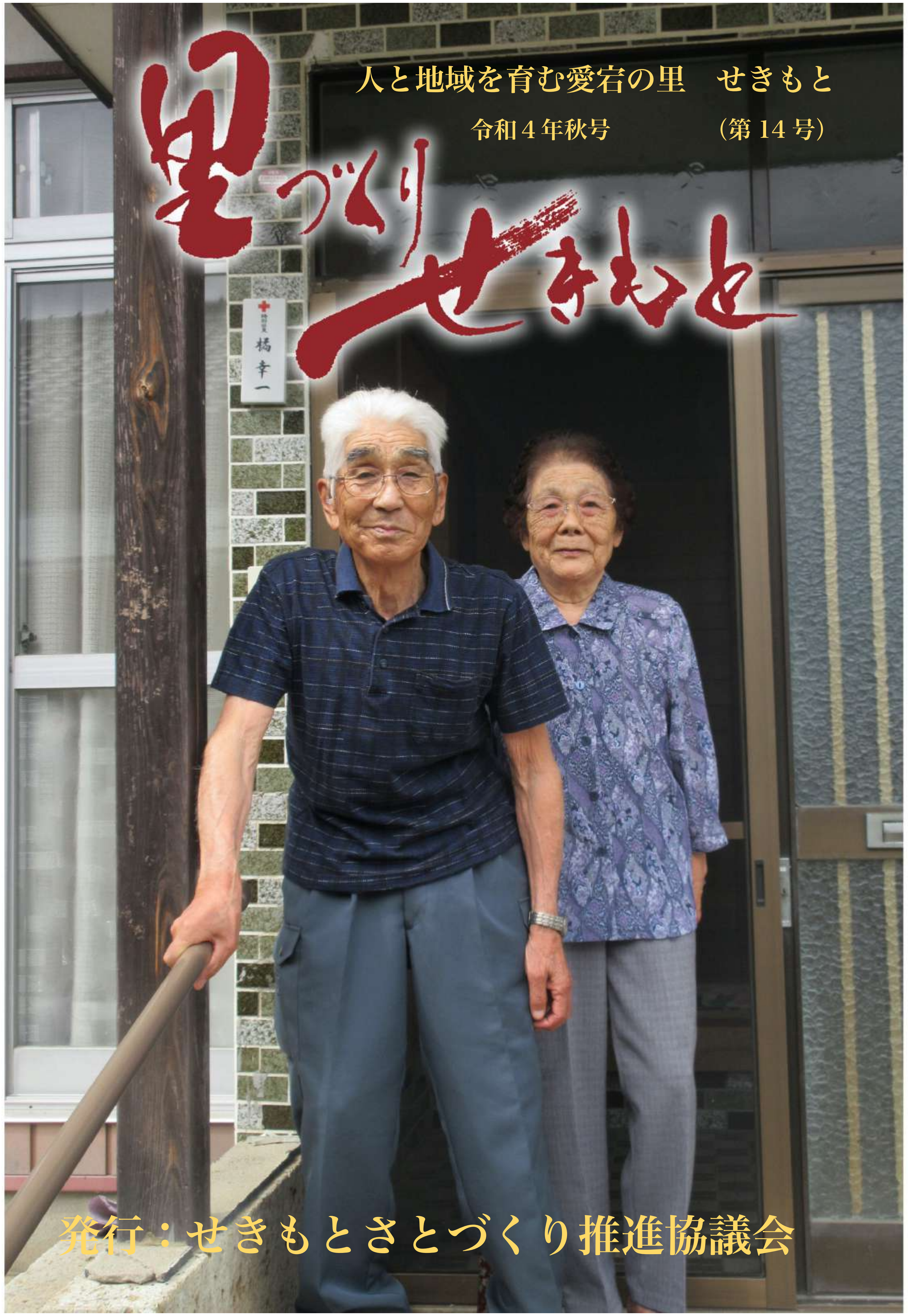
里づくり せきもと

人と地域を育む愛宕の里　せきもと

令和４年秋号　（第14号）



発行：せきもとさとづくり推進協議会

活動報告

女性セミナー

ボランティア活動を実施

９月27日に交流館和室の障子貼りのボランティア活動を行いました。毎年調理室内の器具や設備の整理整頓をしていましたが、コロナ禍で使用できず、今年は長年の埃や変色、破れが目立ってきた障子貼りをしました。あらかじめ地元の建具屋さんのアドバイスをいただいていましたが、メンバーはそれぞれに昔取った杵柄、とばかりにチームワークよく、一般家庭にはあまりない大きさの障子戸12枚を新品同様に仕上げました。

マスク着用で汗を拭きながらの作業で、障子戸を外し、障子を剥がす→桟を拭き、乾かした桟に糊をつけ、カットした障子紙を数人で貼り付ける→全体を落ち着かせ霧を吹きかけて完成！大関の金山建具さんから専用糊とボンド、アドバイスをいただきました。ありがとうございました！

いきいきカレッジ

パークゴルフで体を動かそう

９月に予定していた津軽三味線鑑賞会が、講師の方からコロナの懸念で中止依頼がありました。女性セミナーとの合同学習会で、皆さん楽しみにしていましたが、次回のお楽しみとなりました。

計画変更を余儀なくされましたが、新たな計画を立案し、女性セミナーと日程を別にして開催を決定したところです。

いきいきカレッジとしては、体を動かす内容で、パークゴルフに決定し参加を募り、16人が参加して９月22日に粟野パークゴルフ場で行いました。

１チーム４人に分け、４チーム編成でプレーしました。まず、パークゴルフのマナーやルール、スコアの書き方を学び、スタート。１打目から爆笑の声が聞こえ、好プレーや珍プレーで盛り上がっていました。最後に参加者全員で「やったぞ！」のポーズで写真を撮りました。

阿武隈川舟下りを満喫

10月14日に実施

10月の野外学習として、丸森町の船着場から出発し、阿武隈川舟下りを楽しみました。

梁川駅に集合し、阿武急利用で丸森駅までしばし電車の旅。丸森駅からマイクロバスで船着場まで往復しました。

船に乗って、船頭さんの説明を聴きながら、美味しい芋煮に舌づつみ！16人の参加者は大満足の１日でした。

【11月の予定】

女性セミナー

とき　11月22日
ところ　堰本地区交流館
内容　「体と脳のエクササイズ」

いきいきカレッジ

とき　11月９日
ところ　粟野パークゴルフ場
内容　パークゴルフ

ウィズコロナの中で

まだまだ衰えの知らないコロナウイルス。第８波とインフルエンザ感染拡大が懸念されています。

マスクをする生活が当たり前になっている現在、心配されるのは、発音・表情などの衰え、身体機能低下などです。特に、子どもの「噛めない・飲み込めない」が大人になっても「噛めない・飲み込めない」につながり、高齢になってからの誤飲・窒息事故にもつながります。

マスクで隠れる危険！「マスクをしているからいいや」にならない様、気をつけましょう。

編集後記

秋の気配も深まり、日暮れが早くなってきました。気候の変動で、体調崩し、風邪とコロナと混同しがちです。

表紙写真は、東前町内会の橘幸一さん、セツ子さんご夫妻。今年お二人とも88歳。揃って米寿を迎えられました。遠くに住んでいる息子さんや孫さんのことを、目を輝かせてお話いただきました。これからも仲良く元気に過ごされますように。

●せきもとさとづくり推進協議会
活動の記録

笠石地内里山整備事業報告

笠石地内「自然と触れ合う里山整備事業」は今年度までの3ヵ年事業として取り組みました。

今年度は補助事業の最後の年度で、維持管理を行なっています。地域振興部会では、7月24日と10月2日の2日間、草刈り清掃を実施しました。

7月24日は、11人が参加し、10月2日は12人が作業に取り組みました。

皆さん、汗だくになって作業を進めました。

雑木林だった地内は、草木が伸びやすく、作業が大変です。

残念なことは、せっかく植えた苗木を抜かれる事態が2・3回あり、何度も植え直しをしています。早く植栽した木々が根付いてくれるといいですね。

お願い

地区内の皆さんが利用しやすく整備をしています。**苗木は抜かないようにしましょう、**大事に育ててください。

大満足の皆さん

笠石山は、春には土佐水木、山桜、霧島ツツジ、アジサイと次々と花を咲かせ、地域の皆さんに愛される憩いの場になることを夢見て、少しずつ手入れしています。完成が待ち遠しいです。満足顔で記念写真をみんなで撮りました。

敬老祝い品の贈呈

9月19日、陽光台町内会の渡邊幸則さん、弥生さんご夫妻に澁谷会長から敬老祝い品の手指の消毒液とマスクが贈呈されました。

お二人は、東京出身で、退職後、陽光台に居を構えて20年経ちます。現在は趣味のゴルフと散歩で悠々自適に過ごされています。いつまでもお元気で。

今年の堰本地区内では、百歳以上の方が3人います。長寿の方が増えて喜ばしいことです。75才以上の方が462人該当しました。団塊の世代と言われる年代の方々が年齢に達しつつある中で、今後人数が増加すると見込まれます。

祝い品は、地域安全部会で区分けし、各町内会に配布され、町内会長等からそれぞれに手渡されました。コロナ禍で敬老会の開催もままならない状況ですが、皆様お元気に過ごされますよう！

（地域安全部会担当）

●里づくりからのお知らせ

花いっぱい運動　秋の植栽

11月13日に地域振興部会でパンジー・ビオラを、大関花壇、小学校前、ポケットパーク2箇所、新田駅花壇に植栽を予定しています。

来春まで地域を彩り、沢山の花が皆さんの目を楽しませます様に！

女性委員会開催

11月2日に第2回里づくり女性委員会を開催します。今年の春も行いましたが、11月に花いっぱい運動・秋の植栽に協力していただきます。

文化祭開催は今年も延期

昨年延期しました堰本地区文化祭は、今年もコロナ感染の懸念もあり、来年に延期する事になりました。

地区の皆様には、来年に備えて作品の創作をよろしくお願いします。

ねんりんピックに出場

11月12日から15日まで神奈川県で開催されるねんりんピックの太極拳の部に、福島県代表で7人チームの一員として、萱野吉さんが13日の競技に出場します。頑張ってください！

地域の活動（団体紹介）

「地域防災の要として」

消防団
梁川師団
第3分団長
橘内正一

日頃は、消防団活動にご理解とご協力ご支援を賜り、消防団を代表して、心から感謝申し上げます。

私は、令和3年度より第3分団長に就任いたしました、大門町内会出身の橘内正一（まさいち）と申します。コロナ禍で、地区の皆様へのごあいさつもできない状況ですが、この機会をお借りして、改めてごあいさつさせていただきます。

さて、私たち消防団は、「自分たちの地域は自分たちで守る」という精神のもと、月に2回の機械器具の点検をはじめ、地域の巡回広報によって、有事の際に直ぐに対応できる環境設備と、未然に火災を防ぐ予防消防活動を行なっています。

近年では、火災だけにとどまらず、台風や大雨による水害、土砂災害など自然災害が猛威を振るい、生活への脅威となっています。私たち消防団は、このような災害と向き合っていかなければなりません。自然が持つ大きな破壊力の前では、私たちは非力であり、非常に小さな力ですが、地域の皆様方の安全確保、自分自身の安全を確保して被害を最小限に抑えるべく、災害に対する訓練は勿論のこと、消防団員一人ひとりが、日頃から災害に対する意識を持ち活動しています。

しかしながら、災害時には私たち消防団員だけの力では限界があります。堰本地区の皆様と一緒に防災に対する意識を高め、突然襲ってくる災害に備えていきたいと考えております。

私たち消防団員が、このように活動に従事することができますのも、団員のご家族の支え、地域の皆様方の支えがあってこそです。今後とも、私たち消防団は、地域防災の要としての意識を忘れることなく、堰本地区の皆様方とのさらなる連帯を図り、災害に対する体制の構築をめざして、消防団活動に従事してまいります。

これから冬に向かって、空気も乾燥し火災が発生しやすい季節になってまいります。生命、財産を奪ってしまう火災、災害に留意され過ごされますよう、お願いします。私たち消防団も、安心安全な堰本地区をめざし活動していきます。今後とも引き続き、消防団に対するご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

地域の方々紹介

古希…町内会初デビュー

橘内祐子さん
道林町内会長

令和元年、50年勤めた保育園を退職、責任もなくなり、やっと自由の身になり、これからは孫たちの所へいつでも行ける嬉しさと、仕事と平行して50年学んできたお花を存分に楽しめる気持ちがありました。その気持ちとは裏腹に、仕事人間だった私にとって今までの様に社会との接点がなくなる寂しさと、働かないという罪悪感があり落ち着くまで時間がありました。そんな中「男女共同参画」の考えを持った方が町内会において「今の時代町内会長は男でなくてはならないということはない。女だっていいんだ」と押され、2年任期の町内会長の役を引き受けてしまいました。その直後、0歳児の保育士として要請され、保育園に再度勤める事になり、二足のわらじを履く事になりました。

はっきり言って、当町内会も男社会です。そんな中に入る不安はマックスですが、乗りかかった船最後までやるしかありません。

皆に支えられてがんばっています。中には女性のトップに対して茶化す人がいますが、ウーマンパワーもまんざらでないと思います。町内会に関わって感じたことは、若者がいないことです。町内会43戸、会員数約90名、学生・乳幼児0名、75歳以上30名、60代70代約40名、50代以下が20名たらず、一人世帯も増えています。まさに「限界集落」です。先細りになっていく町内会を、どの様にしたら次世代に繋げる事が出来るのか答えは出なくとも、皆で知恵をしぼって話し合うことが求められているような気がします。

しかし、町内会初デビューの私には力及ばず。町内会の目的の一つでもある親睦もコロナ禍で今までのようにはいかなくなる懸念もあり寂しいです。

趣味のお花はスリープ状態です。ただ、お正月の花だけは町内会サロンの皆さんで活けて、ボランティアさせていただいています。花の力を通して少しでも前向きにと！「限界集落」の町内会に花を添えていきたいです。